

## 第2回 三桜酒造跡地公共活用検討委員会 議事録

### 1. 開催概要

日 時 令和5年9月7日(木) 18:30~20:30

会 場 浜田市立中央図書館 2階 多目的ホール

参加者 14名(以下のとおり)

傍聴者 10名

報道関係者 3社

### 【委員】

(順不同、敬称略)

区 分	氏 名	所属団体等	備考
学識経験者	林 秀司	公益大学法人島根県立大学 副学長	会長
経済団体	福濱 秀利	浜田商工会議所 副会頭	
	田中 昌昭	石央商工会 会長	副会長
地元団体	飯田 統通	浜田駅前銀天街協同組合 副理事長	
	佐古 肇徳	石見地区自治協議会 会長	
観光団体	江木 修二	一般社団法人浜田観光協会 副会長	
建設・設計 事業者	今井 久晴	浜田市建設業協会 会長	
	國分 俊幸	島根県建築士会浜田支部 役員	
地域協議会	村井 栄美子	浜田地域協議会 会長	
	岡本 敬子	金城地域協議会 委員	
	徳川 博	旭地域協議会 委員	欠席
	徳田 マスエ	弥栄地域協議会 会長	
	三浦 幸治	三隅地域協議会 委員	
交流に関係 する団体	端本 千夏	島根県立大学地域活動サークル Go next (コネクト) 代表	代理出席： 小西
	串崎 舞	一般社団法人浜田青年会議所 理事長	
	三浦 美穂	浜田女性ネットワーク 副会長	

### 【事務局】

部署	職名	氏名
浜田市産業経済部商工労働課	課長	大屋 一幸
〃	専門企画員	田倉 大輔
浜田市地域政策部関連施設支援室	室長	宮崎 良一
〃	専門企画員	大田 崇正

### 【調査委託会社】

会社名	職名	氏名
(株)エブリプラン	取締役上席研究員	森田 俊作
	地方創生推進室長	鶴見 太郎
	主任	石村 明子

## 2. 議事次第

- 1) 開会
- 2) 市長挨拶
- 3) 報告事項
  - ・基礎的調査の概要について
  - ・市民アンケート・関係団体等ヒアリング結果について
- 4) 協議事項
  - ・跡地活用に関する意見交換（グループワーク）
- 5) その他
- 6) 閉会

## 3. 配布資料

次第

委員名簿

配席図

三桜酒造跡地における公共活用方針検討委員会 第2回資料【資料1】

三桜酒造跡地 現地見学会 写真【資料2】

三桜酒造跡地における公共活用方針検討委員会 グループワークの進め方【資料3】

## 4. 議事

- 1) 開会

## 2) 会長挨拶

林会長より挨拶を行った。内容は以下の通り。

発言者	要旨
林会長	<p>委員の皆様にはお忙しい中、お集まりいただき感謝する。</p> <p>第1回の委員会では私の交通整理がうまくいかなかった面もあり、ご迷惑をおかけしたかもしれない。</p> <p>今日は方向性をはっきりして議論を進めたい。まず報告事項としてエブリプランから基礎的調査、アンケート、ヒアリングについての報告を受ける。それを踏まえ、グループワークにて協議することとしている。</p> <p>ぜひ活発なご議論をお願いしたい。</p>

## 3) 報告事項

事務局より、報告事項について、配布資料1~2に沿って説明を行った。質疑・意見は以下の通り。

発言者	要旨
委員	1点確認したい。駅前の岩多屋が将来解体された場合、市は購入、活用する予定があるのか。それによって考え方が変わってくる。
事務局	現時点で購入の予定はない。活用についても、以前要望はいただいたこともあるが、現時点で未定である。
委員	了解した。頭から外して考える。
委員	公共活用の「公共」の意味合いはどこまでを示すのか。まちづくりをしていく上で民間活用はなくてはならないものだと思う。民間のアイデアを登用している所が成功していると思われる。「公共」をつけた理由を知りたい。また、酒蔵のあるまちは好きだが老朽化している状況も理解。更地にすることがマストというが、その場合、この場所にこだわる理由は何か。
事務局	<p>所有者から市での活用を検討してほしいという要望を受けた。市で検討するに当たり、まずは公共施設になるのか、公共的な活用をする場合に、どのような活用が考えられるかを検討することになった。ということでこの検討委員会の皆さんに、市が公共活用する場合にどのような機能や活用が考えられるかという意見をいただきながらまとめていきたいと思う。結果として、公共活用よりも、P.45にある民間活用の方が良いのではないかという意見でまとまった場合はその方向で進めることもあり得る。</p> <p>ただ、市として要望を受けた以上、第一回で市長から神楽伝承施設についての検討をお願いしたように、公共活用としてまずは進めていきたいため「公共」をつけて進めている。</p> <p>もう1点、更地にするのであればここでなくても良いのではという意見に</p>

	<p>ついては、所有者が三桜酒造跡地は駅前の良い場所ということで市での活用検討の要望を受けた。その際に、所有者から更地にして使ってほしいという意向を受けた。それを踏まえ、議会にも報告し、更地でどのような公共的な活用ができるのかを検討させていただきたい。更地であればどこでもいいのではないかというよりは、この場所でどのような公共施設が考えられるかという視点で検討したい。</p>
委員	<p>「公共施設」なのか。浜田市として取得について検討をするが、そこに民間の意見やアイデアも取り入れるのか、場合によれば民間活用でここを整備する方向もあると言われたので、公共施設でなくても良いか。</p>
事務局	<p>第1回検討委員会で市長から発言があり、公共施設としての活用を考慮しており、商業施設を入れる考えはないと言わせていただいた。ただ検討委員会から民間活用の意見があれば排除せず検討したい。</p>
委員	<p>P15 災害リスクの対象地の地図の中に家屋倒壊等氾濫想定区域とあり、1年間に発生する確率が1/1000以下の降雨というのは日本全国こういう状態なのでみんなが生まれて初めてだと言っているのではないかと思う。知りたいのは昭和58年と63年に浜田川は氾濫しなかったが三桜の自宅が床上約20-30cm浸水した。昭和63年には2回浸水した。その後、浜田第2ダムができ、高佐川のバイパスができた。昭和58年と63年と同様の雨量が降った場合どうなるのか。浜田第2ダムができたとき、100年に1度の豪雨に耐えられるとの説明を受けた。水害というのは忘れた頃に絶対に来る。昭和58年と63年と同じ雨量でも大丈夫なのか。</p> <p>また、対象地の家屋倒壊等氾濫想定区域は建築をする場合に影響があるのか。警察署は家屋倒壊等氾濫想定区域にかかっているが、図書館は避けて建っているはず。</p>
事務局	<p>洪水の確率について、過去の降雨程度を想定した計画降水量であれば基本的には浜田川は氾濫しないという想定になっている。1年間に発生する確率が1/1000程度の降雨（想定最大規模）があった場合には氾濫する可能性はある。その場合には、河岸浸食により家屋倒壊等の恐れがある区域（家屋倒壊等氾濫想定区域）が浜田川の両岸に指定されている。この区域は建物が建てられないというほど規制がかかっている場所ではない。ただ、可能性があるということ踏まえた上で建物を建ててくださいという位置づけとなる。例えば、杭を打ったり、護岸の堤防が石垣のようにしっかりしていたり、水流が大きい水嶋部でないのであれば、絶対とは言えないが確率的には堤防が崩壊する可能性は低いと思われる。</p>
委員	<p>浜田川が氾濫することはまず想定しにくく、高佐川のバイパスが有効に機能してくれるような容量の排水がされれば大丈夫だとは思う。ただここは</p>

	過去の歴史の中で常習地域なので聞きたかった。
事務局	可能性の話であり、いま専門家もいないので、お答えできない。
委員	アンケートについて、何人かに話を聞くとイメージが沸かないと言われる。それはそうだと思う。専門家や仕事上浜田市をよく考えている方は立場上イメージが沸くと思うが、アンケートを受け取った市民の方は、旅行に行った先の楽しかった経験などを思い馳せながら、浜田にあったらよいものを思い浮かべながらアンケートに回答されたと思う。そのことが、伝承館をつくりたい市長の想いと合致して、浜田市にとって神楽伝承館やホールを作ることが発展につながっていくのかなということを浜田市民の皆さんと共有しないとイケないのではないかと感じる。若い方が選んでくれたこのパーセントは大事だと思うが意外と低い。マルシェやくつろぐ場所、食事できる場所を望んでいることがアンケートで出ているので、市長と市民の想いがかけ離れていることを実感した。 場所は本当にここが良いのか等、時間をかけて、市民と対話しながら共有して、良い場所に決まるようにやっていくべき。
委員	議事録を次回までにください。

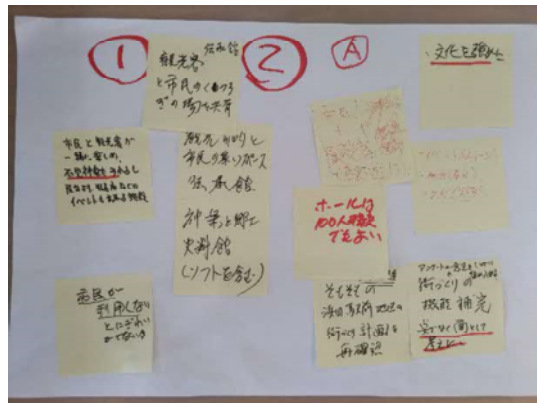
#### 4) 協議事項

事務局より、協議事項の(1)について、配布資料3に沿って説明を行い、意見交換をグループワークにて行った。各グループで出された意見等の概要は以下の通り。

##### ・Aグループ

	意見等の概要
目指す方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民と観光客が一緒に楽しめる</li> <li>・ 観光客と市民のくつろぐ場を共有</li> <li>・ 観光目的と市民の集いスペース</li> <li>・ 市民+観光客（駅が近いので）</li> </ul>
盛り込む施設のイメージ	<p>(神楽関連)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 石見神楽も見られる施設</li> <li>・ 伝承館、神楽と郷土資料館（ソフトが大切）</li> <li>・ 文化伝承できる場</li> <li>・ 石見神楽伝承施設は絶対必要</li> <li>・ 石見神楽は参加型でない、よさこい等のようにはならない</li> <li>・ 駅前には神楽時計や案内看板、神楽の石造などを設置し、「どんちっち」を浜田市の特徴として情報発信している</li> <li>・ 観光＝神楽ではない 神楽は市民の鑑賞も多く、市民利用の一つでもある</li> </ul>

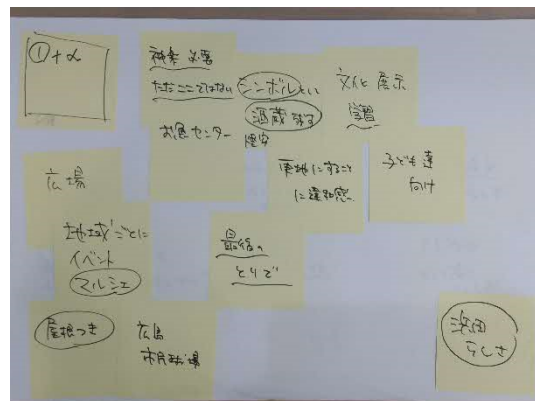
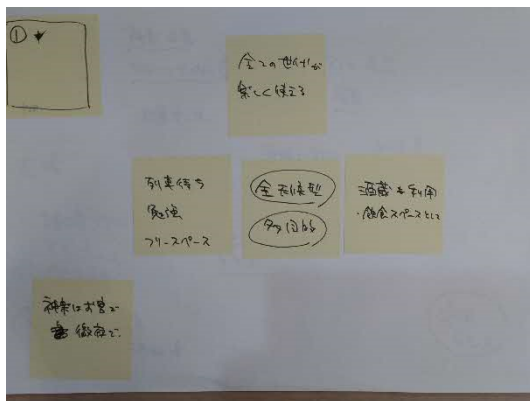
	<p>(観光客・市民の魅力施設)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 屋台村や特産品店</li> <li>・ 自由度が大きいスペースが必要</li> <li>・ イベントできる施設、ステージ</li> <li>・ ホールは 100 人程度の小規模のものでよい</li> <li>・ ここでのホールは、防音設備は必要</li> <li>・ 高知市のひろめ市場がにぎわい創出の場の参考になる</li> </ul>
利活用に あたっての 留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ そもそもの浜田駅前地区の街づくり計画 (= 交流拠点) を再確認すべき</li> <li>・ 浜田市は、城下町なのか宿場町なのか港町なのか、イメージが揺れている (どんちっちを柱にすることも考えられる)</li> <li>・ アンケート等の意見を組み入れ街づくりの機能を補完するように考える点ではなく、面として考えたい</li> <li>・ 市民が利用しないとにぎわい創出つながらない</li> <li>・ 社会実験をしながら考えてもよいのでは</li> <li>・ 図書館の南側の緑地を活用してキッチンカー等の社会実験をしてもよいのでは (川の音も聞こえて、対象地より憩いの空間としてはよい所)</li> <li>・ 採算性も考える必要がある</li> <li>・ 郷土資料館は重荷になる可能性が高い</li> </ul>

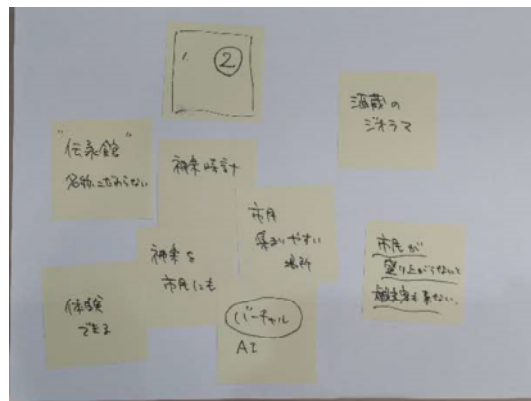
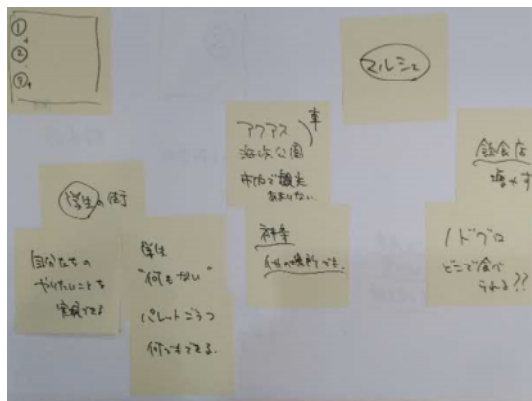


・ B グループ

	意見等の概要
目指す 方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民利用</li> <li>・ 市民利用 + <math>\alpha</math> (酒蔵の活用)</li> <li>・ 市民利用 + 観光客利用 + 民間活用 (どの要素も必要)</li> <li>・ 市民 + 観光客 (やや観光客寄り)</li> </ul>
盛り込む 施設の イメージ	<p>(市民利用)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全天候型で多目的な空間</li> <li>・ 全ての世代が楽しく使える場所 (列車待ち、勉強、フリースペースなど)</li> <li>・ 酒蔵も飲食スペースとして活用できるといい</li> </ul> <p>(市民利用 + <math>\alpha</math> (酒蔵の活用))</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広場にして、市内5地域が順番にマルシェやイベントを実施</li> <li>・ ひろしまゲートパークのミニ版</li> <li>・ 屋根つき</li> <li>・ 浜田の文化が展示してあり、子ども達が学習できる場</li> <li>・ シンボルとして酒蔵や煙突を残す (市民利用+観光客利用+民間活用 (どの要素も必要))</li> <li>・ 学生が自分たちのやりたいことを実現できる場</li> <li>・ パレットごうつのような施設</li> <li>・ マルシェ</li> <li>・ 地物が食べられる飲食店 (市民+観光客 (やや観光客寄り))</li> <li>・ 市民が神楽を身近に感じられる場所 (体験、VR 活用)</li> <li>・ 市民が集まりやすい場所</li> <li>・ 複合施設</li> <li>・ 酒蔵はジオラマで残す</li> </ul>
<p>利活用に あたっての 留意事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 浜田らしさを追求すべき</li> <li>・ 市民が盛り上がらないと観光客も来ない</li> <li>・ 神楽施設は必要 ただここではない お魚センターなど他の場所を検討すべき</li> <li>・ 観光客が訪れるのはアクアスや石見海浜公園 市内には観光する場所 はあまりない</li> <li>・ 神楽時計はシンボル 「伝承館」という名称はだわらない</li> <li>・ 神楽はお宮で、徹夜でやるもの 市民アンケートで 40%はいらないと 回答していることを受け止めるべき</li> <li>・ 更地にすることに違和感</li> <li>・ 公共施設に反対の声もあるが、民間だけでは難しいのではないか</li> </ul>



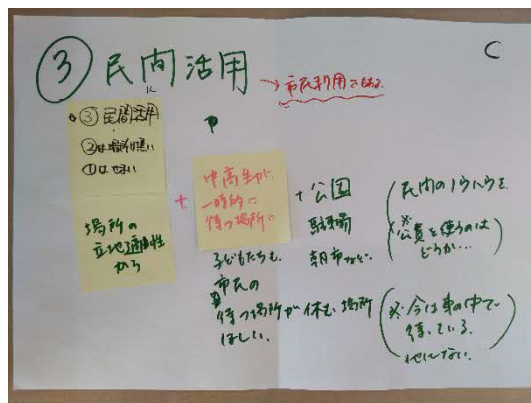
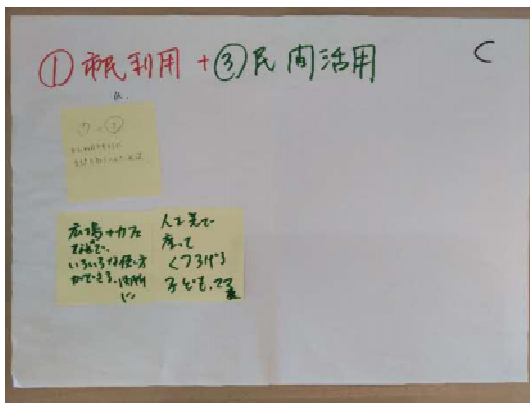
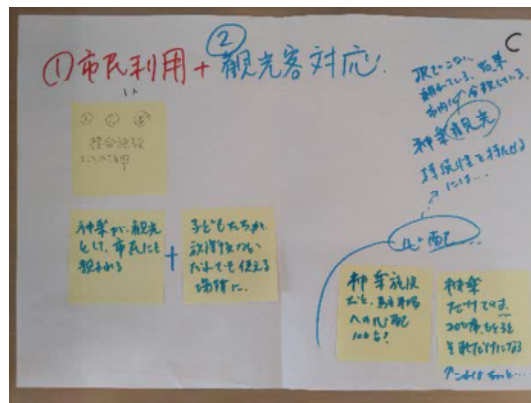
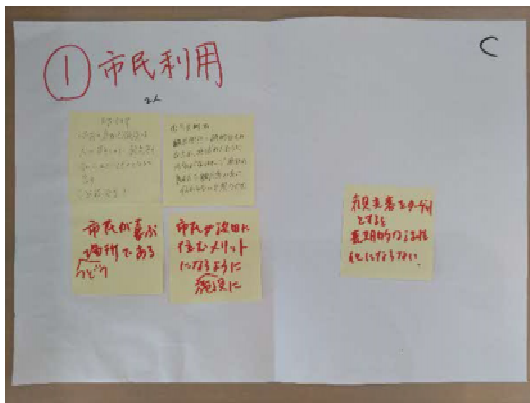


・C グループ

	意見等の概要
目指す方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民利用：市民が喜ぶ活気が感じられる場、人が集まる公設民営の施設</li> <li>・ 市民利用＋観光客：複合施設</li> <li>・ 市民利用＋民間活用：市民利用を目的に民間を取り入れる</li> <li>・ 民間活用：民間によるカフェと広場</li> </ul>
盛り込む施設のイメージ	<p>(市民利用)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民が浜田に住むメリットが感じられる施設</li> <li>・ 市民が喜ぶ施設、若い世代が望む施設</li> <li>・ 生活にゆとりをもたらす、本を読んだりくつろいだりする施設（カフェ＋広場）</li> <li>・ 屋内だけでなく屋外にもくつろげるスペース</li> </ul> <p>(神楽＋市民利用)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 神楽観光施設と市民や小中高生などが空き時間に誰でも気軽に利用できる施設</li> <li>・ 神楽観光施設と持続性を高める市民利用が入った複合施設（神楽伝承館のみの施設は一時的な利用になるので、単独利用は反対）</li> </ul> <p>(市民＋民間活用)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外部からにぎわいが感じられる施設</li> <li>・ カフェ＋ブック・アクセサリなどの物販を組み合わせた施設と屋外にイベントにも対応できる広場 広場は普段はちょっとした遊べるスペース</li> <li>・ 人工芝などの広場があり、子どもやママ友など座ってくつろげるような施設</li> </ul> <p>(民間活用)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 物販店（職場の女性の声から）</li> <li>・ 近隣の中高生やスーパーなど買い物客が一時的に利用できる待ち合いの場</li> <li>・ カフェと広場などがあり、広場では朝市など民間のノウハウを活用した</li> </ul>



	にぎわいのある施設
利活用に あたっての 留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民がここに一番何を求めているかを考えていただきたい</li> <li>・ アンケートの結果を大切に早い実現を求める</li> <li>・ 観光客は JR ではなく車で来る 立地特性からも観光施設は望ましくない 神楽伝承館は他の場所で検討すべき</li> <li>・ 一時的に利用する観光客をターゲットにすると、まちの長期的な活性化にならない</li> <li>・ 神楽観光施設となると駐車場スペースの確保が心配、100 台など必要になるのか</li> <li>・ 200 席も備えた神楽施設になると、それだけで敷地面積を占める</li> <li>・ 観光施設が市内に分散している 点ではなく面として考えた方がよい</li> </ul>



## 5) その他

事務局より、次回検討委員会について案内した。

- ・ 次回は 11 月 8 日 (水) 18:30~場所は今回と同じく中央図書館 2 階多目的ホールで行う。
- ・ 次回はアンケート結果や本日のグループワークで出された意見も踏まえ、方向性についての事務局案を提示する予定。

6) 閉会



以上